

平成25年度事業報告

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

1.平成25年度の事業

(1) 組織の維持・強化と財政基盤の充実

近年会員数の減少は全国的な傾向にあり、活動の原資となる福利厚生制度からの手数料収入も漸減傾向にあることから、組織強化と財政基盤の充実は最重要課題として取り組んでまいりました。役員を中心に法人会協力保険会社とも連携を図り、会員各位の格別のご努力を得て、会員加入率では県下でも上位を維持してまいりました。

(2) 広報活動の推進

広報活動は、法人会のイメージアップ・知名度の向上には欠かすことの出来ない事業であり、会員の増強にも繋がることから「税を考える週間」を中心に大型ポスターを効果的に活用し、ぬりえ・税金短歌等の作品展を開催、表彰式での税の啓蒙グッズを配布し知名度アップに努めました。また「電子申告納税システムe-Tax」の普及推進に資するために、広報誌等を通じ積極的にPR活動を行ってきました。

(3) 研修活動の充実

研修は会員の自己啓発を支援する為の重要な事業として、税務当局との連携をとりながら、法人会活動の基本である税法・税務を中心とした研修会を積極的に行い、円滑な税務行政の推進に貢献しました。

(4) 福利厚生制度の推進

保険業界における規制緩和の進展など、構造的な変革が続く中で法人会の福利厚生制度では、協力保険会社3社と各支部の連携を一層密にして推進してまいりました。「法人会だから・・・」キャンペーンでの紹介運動やビジネスガードの推進を重点に取り組んできました。

(5) 税制改正への対応

税のオピニオンリーダーとして、地域社会の担い手である中小企業の活性化に資する税制を始め、将来を展望した建設的な提言に努めてまいりました。地域のニーズを反映すべく提言事項を県連に提出し、県連で税制提言事項を取り纏め、全法連を通じて関係各方面に要望活動が行なわれました。当会においては、各管内市町村の国会議員、首長、商工会議所、商工会に提言書を提出しました。

(6) 新公益法人制度の取り組み

平成25年4月1日新たな公益法人制度のもと、「社団法人半田法人会」は「一般社団法人半田法人会」としてスタートしました。会員及び地域の方々にとって価値ある事業を展開し、地域の産業・経済・文化の発展のため、企業経営者の集まりである法人会として、大きな役割を果たしてきました。

2.各委員会、部会及び各支部の活動報告

(1) 総務

正副会長会議では、会長を中心に各懸案が慎重に審議され、円滑な事業活動の源となりました。また、総務委員会として、本部・支部及び各委員会・部会との連携をとりながら総括的に全体を把握し、事業活動が円滑に運営できるよう注力しました。

(2) 組織

①会員増強運動の展開

会員増強運動については、13支部独自の目標をそれぞれに設定しました。毎年10月から12月を会員増強月間とし、各支部役員が中心となって、「加入率60%死守」を目標に勧奨活動を行なった結果、125社（昨年101社）の新規加入を得ることができました。12月末では愛知県法人会連合会傘下20法人会の中において59.4%で4番目の加入率となりました。愛知県連の平均値43.8%を大きく上回ったものの、本来の安定した会員定着に向けての方策は引き続き次年度の課題となりました。また、未加入法人の実態につきまして、支部役員が確実に調査をした結果を管内法人数に反映いたしました。

会員数の状況

	平成25年4月1日	平成26年3月31日	増 減
管内法人数	7,964 社	7,964 社	0 社
会 員 数	4,704 社	4,672 社	-32 社
加 入 率	59.1 %	58.7 %	-0.4 %

②支部組織（会員数）

支部会員数増減表

25年度入退会一覧

(一社)

	H25.4.1	入会数	退会数	退会の内 3年間 会費未納	年間増減数	H26.3.31	
	会員数					会員数	加入率(%)
半田1	464	7	27	7	-20	444	56.4
半田2	427	9	10	0	-1	426	69.8
半田3	230	22	12	0	10	240	61.4
半田4	134	3	1	0	2	136	87.7
阿久比	151	16	4	0	12	163	67.1
東 浦	315	16	18	2	-2	313	73.3
大 府	625	31	18	2	13	638	51.5
東 海	809	17	36	7	-19	790	52.1
知 多	389	6	19	3	-13	376	49.0
常 滑	526	8	20	1	-12	514	68.2
武 豊	241	4	5	0	-1	240	55.8
美 浜	199	4	5	1	-1	198	76.2
南知多	194	3	3	1	0	194	50.7
合 計	4,704	146	178	24	-32	4,672	58.7

(3) 税制改正の取り組み

法人会の重要な役割のひとつである税制改正要望の活動として、「税制アンケート」を継続して実施し、税制改正の提言事項を取り纏め、県連へ提出しました。平成25年度税制改正においては、法人税率の引き下げや地方税制の見直し等、国税・地方税について中小企業の活性化に資する踏み込んだ提言を行ってきました。また、法人会活動の基本である税制(改正)に関する研修会を実施しました。

(4) 社会貢献活動

①「税を考える週間(11/11~17)」において「祭・de・TAX'13」を開催

事業委員会・青年部会・女性部会共催により「21世紀を担うこどもたちに夢を」「税金を身近に感じ、考えるきっかけ作りの場とする」をコンセプトに小・中学生を対象に、ぬりえ・税金短歌の作品募集をして、作品展並びに表彰式を開催しました。(東浦・あいち健康プラザにて 11/16,17)

会場へは、およそ4,000名の親子が来場し、大きな成功を収めることができました。

知多半島5市5町の全教育委員会、全小・中学校の後援による「小学生・ぬりえコンテスト」へは4,839作品、及び「中学生・税金短歌」へは424作品の応募があり、表彰式翌日より優秀作品約1,000点は各市町の庁舎ロビー等をお借りして地元の優秀作品を1週間展示いたしました。

②租税教育活動への参加

青年部会並びに女性部会では全法連青連協の租税教育活動「租税教育全国行動〜今、子供たちに何を伝えるか〜」を受け、半田税務署協力のもと青年部会員8名、女性部会5名を講師として管内小学校へ派遣し、16校約1,000名に租税教育を行いました。

③女性部会「善意の輪を広げよう」運動の継続実施

お送りいただく古切手・書き損じはがき等の数も年々増加し、会員はもちろん多方面からのご協力をいただけるようになっております。

女性部会設立20周年を機に、平成10年12月から開始したこの社会貢献活動は、社会福祉協議会・社団法人中部善意銀行を通し継続的に寄贈しています。

現在（平成26年3月末）までの活動結果

使用済み切手	560.5 kg
書き損じハガキ切手交換分	751,947 円
使用済みプリペイドカード	168,383 枚
未使用プリペイドカード	32 枚
現金	53,000 円

(5) 広 報

- ①広報誌「歩一步」は、会員・関係団体並びに関係各位へ配布しました。内容については「歩一步」巻頭インタビュー、税制のページ、会員登場のページ・新入会員紹介等、充実した内容で提供することができました。

発行号数：第260号・261号・262号

発行部数：毎号5,100部（1月号のみ5,200部）

発行月：5月・9月・1月

- ②「税制改正のあらまし」速報版等、全会員へ配布し税制改正内容の周知を図りました。

(6) 厚 生

①福利厚生推進会議開催

協力保険会社3社合同による福利厚生制度に関する連絡協議会を開催し、制度の周知と推進の施策を検討・実施しました。

②各種保険推進状況

a.法人会福利厚生制度の加入状況

協力保険会社名	保険の名称	加入会員数
大同生命保険株式会社	法人会大型総合保障制度	683社
AIU 損害保険株式会社	経営保全プラン	293社
	任意労災保険	223社
アメリカンファミリー生命保険会社	がん保険制度	468社

b.独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構(簡保)状況

25年度保険手数料収入(事業収入)決算額内訳

取扱郵便局	保険手数料収入(円)	加入件数(件)
半田郵便局	1,297,808	170
〃(旧武豊郵便局)	540,704	56
大府郵便局	134,990	23
東海北郵便局	148,984	18
東海南郵便局	171,119	17
知多郵便局	198,987	20
常滑郵便局	287,060	38
東浦郵便局	177,008	17
合計	2,956,660	359

③福利厚生推進事業開催(健康促進事業)

第19回会員親睦ゴルフ大会は各支部において予選会を開催し、308名の参加がありました。9月2日には185名による本戦が行われ、延べ493名の参加となり、支部会員企業の異業種交流と福利厚生推進事業の一助となりました。

また、第12回となる親睦レディースゴルフ大会を6月17日新南愛知カントリークラブにて開催し53名の参加を得、福利厚生事業の一助となっています。